

# 技術情報

JA全農やまぐち

TAC・営農推進課(083-988-0681)

平成27年8月17日発行

第209号

## I 平成27年度 第6回 水稻生育診断情報

山口県農林総合技術センターからの水稻生育・栽培管理速報(No6)を基に技術情報を作成しました。  
水稻栽培の管理指導にご活用ください。

### 1 気象概況

- ・6月上旬は、まとまった降雨があり、降水量が多く、日照時間は平年並～少なく、気温は平年並みからやや低かった。
- ・6月中旬は、梅雨天候となったため、日照時間が少なくなり、最高気温は平年並～低く、最低気温は概ね平年並みであった。
- ・6月下旬から7月下旬にかけては、天気が周期的に変化し、まとまった降雨もあった。日照時間は平年並～少なく、気温は概ね平年並～低かった。
- ・梅雨明けは7月29日ごろであったが、梅雨明け後は一転して夏型の気象となり、平年と比べ日照時間は多く、日中の気温が著しく高くなった。

### 2 生育概況と今後の管理

#### (1) コシヒカリ(5月中旬植え)

##### ①生育の概況

###### 【出穂の状況】

- ・多くのほ場で7月29日～8月4日にかけて出穂しており、全体的には平年並～3日遅い出穂期である。

###### 【葉色】

- ・出穂期の葉色は概ね平年並みとなっている。

##### ②今後の管理

- ・出穂後20日後の8月中旬過ぎ頃までは湛水管理を継続するが、用水の入れ替えにより根の健全化を図る。また、湛水管理終了後も、間断灌水や走水を行い、最後まで根の活力を維持する。
- ・高温が続いていることから、可能な地域では、かけ流しを行って地温を下げる。
- ・葉いもちの発生が県内各地で確認されていることから、発生が多いほ場では、穂ぞろい期の防除を確実にを行い、必要に応じて補完防除を行う。

#### (2) ひとめぼれ(5月中下旬植え)

##### ①生育の概況

###### 【出穂の状況】

- ・一部で出穂がやや遅れた稲もあるが、全体的には7月31日～8月2日にかけて出穂し、概ね平年並みの出穂となった。

##### ②今後の管理

- ・出穂後20日間は湛水管理を継続するが、用水の入れ替えを徹底して、根の健全化を図る。また、湛水管理終了後も、間断灌水や走水を行い、最後まで根の活力を維持する。
- ・高温が続いていることから、可能な地域では、かけ流しを行って地温を下げる。
- ・葉いもちの発生が県内各地で確認されていることから、発生が多いほ場では、穂ぞろい期の防除を確実にを行い、必要に応じて補完防除を行う。

### (3) 晴るる (5月下旬植え)

#### ①生育の概況

##### 【出穂の状況】

- ・主稈葉数が1枚増えたことから、出穂期は8月4日～8月9日頃となり、平年並～やや遅れた。

#### ②今後の管理

- ・籾数は平年並～やや多いと推察される。出穂後20日間は湛水管理を継続するが、根の健全性保持による登熟の促進のため、用水の入れ替えを行うとともに、高温が続いていることから、可能な地域ではかけ流しを行って地温を下げる。
- ・葉いもちの発生が県内各地で確認されていることから、発生が多いほ場では、穂ぞろい期の防除を確実にを行い、必要に応じて補完防除を行う。

### (4) きぬむすめ (5月下旬～6月上旬植え)

#### ①生育の概況

##### 【葉齢・生育ステージ】

- ・葉齢の進展は平年より0.6葉程度遅れており、平年との差は依然として縮まっていない。

##### 【草丈】

- ・梅雨明けまでの低温の影響で生育の5cm程度短く推移している。

##### 【茎数】

- ・ $m^2$ 当たり茎数には、ほ場間でバラつきがあるが、全体的には、ほぼ平年並みである。

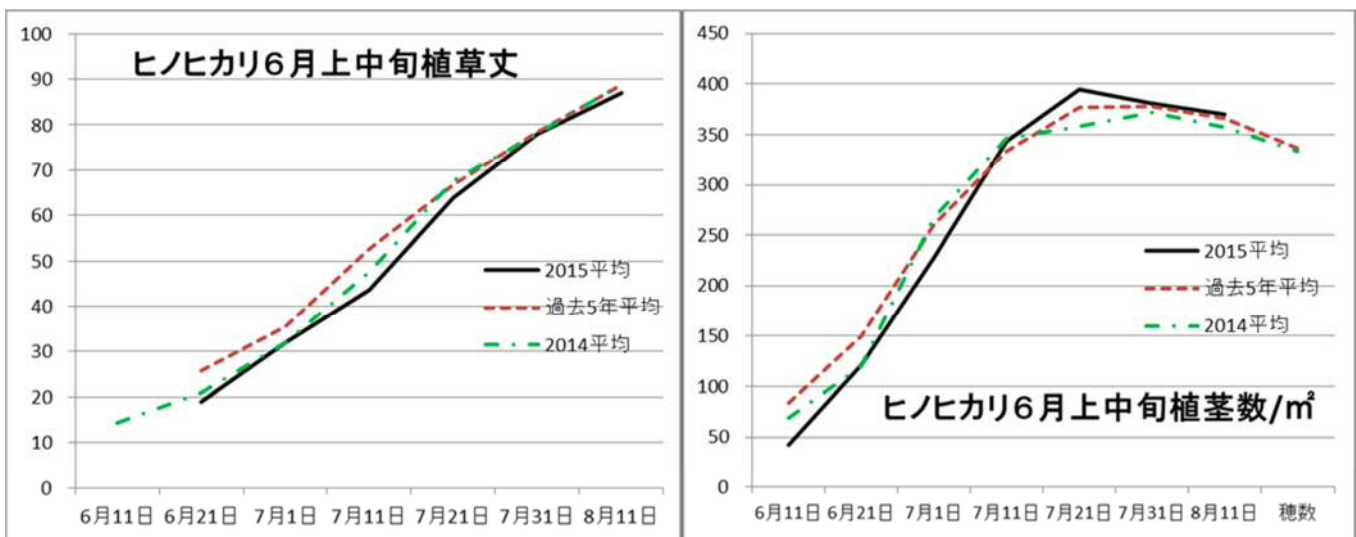
##### 【葉色】

- ・葉色は、この10日間で維持されており、出穂期まで急激な葉色の淡化はしないものと予想される。

#### ②今後の管理

- ・湛水管理中にも、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを励行して、根の活力維持を図る。
- ・平坦部の稲でも葉いもちの発生が確認されていることから、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。また、穂ばらみ期の基幹防除を徹底する。

### (5) ヒノヒカリ (6月上中旬植え)



#### ①生育の概況

##### 【葉齢・生育ステージ】

- ・梅雨明け後の高温により生育は平年に追いついてきたが、梅雨時の低温の影響が大きく、生育の遅延傾向は続いており、8月11日時点で、葉齢は平年並～0.9程度遅れている。

##### 【草丈】

- ・梅雨後半の寡照・高夜温の影響で草丈が伸びて8月11日時点で平年並となった。

## 【茎数】

- ・初期分げつの発生良否により現在の茎数にはバラつきが見られる。概して最高分げつ期以降の茎数の減少が大きく、全体的には平年並となった。

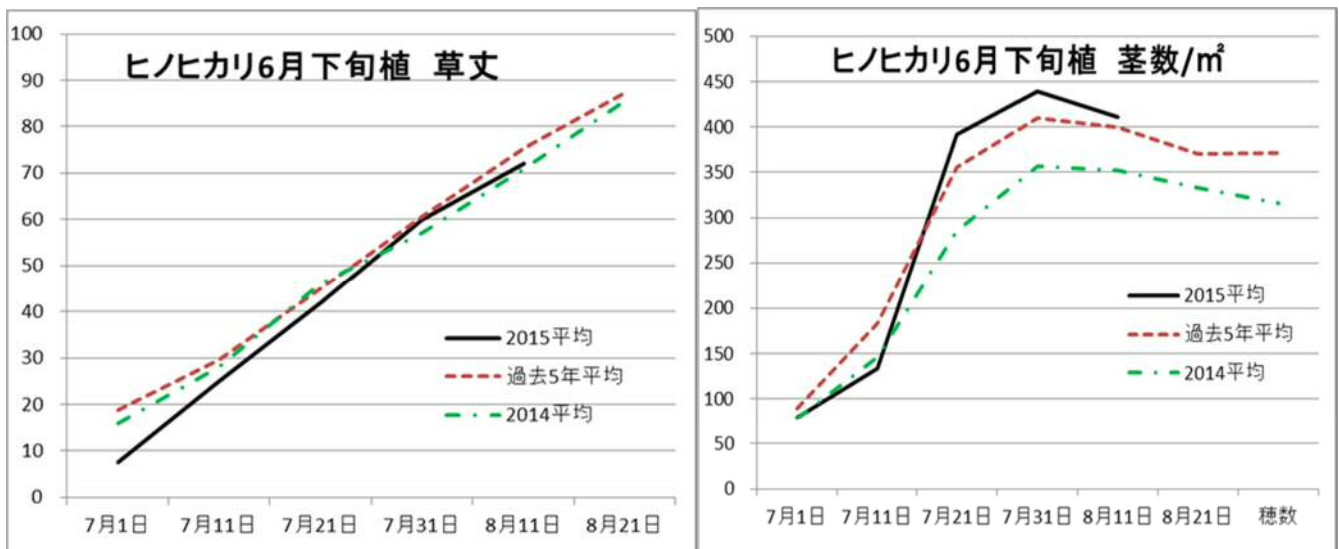
## 【葉色】

- ・葉色は10日前から淡化傾向で、8月11日時点では平年並みとなった。

## ②今後の管理

- ・出穂期は概ね平年並み～やや遅いと予想される。
- ・8月上旬から湛水管理に移行する。湛水管理時には、深水を維持するのではなく、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを励行して、根の活力維持を図る。
- ・穂肥施用の場合は、必ず幼穂の状態を確認する。高温により葉色が淡化する場合には穂肥を増量する。逆に葉色の淡化が緩やかな場合には、葉色板で4.0を基準とし、これより濃い場合は施用量を減らすか省略する。特に、葉色が濃く茎数が多いと弱小分げつが有効化されるので、施用には注意する。2回目の穂肥は出穂10日前までに施用するが、葉色が濃い場合には減量するか省略する。
- ・平坦地のヒノヒカリでも葉いもちの発生が確認されており、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。また、穂ばらみ期の基幹防除を徹底する。

## (5) ヒノヒカリ（6月下旬植え）



## ① 生育の概況

### 【葉齢・生育ステージ】

- ・10日前の調査では、平年より2葉程度出葉が遅れていたが、この10日間の好天で1葉程度の遅れとなった。8月11日現在、最高分げつ期を過ぎたところである。

### 【草丈】

- ・7月末までの20日間は、日照時間が少なく、夜温がやや高くなったため、葉身が急激に伸びたが、この10日間は夜温がやや低かったことで、葉身の伸長は緩やかとなり、平年よりも草丈は5cm程度短く推移している。

### 【茎数】

- ・初期の分げつの確保が遅かったものの、茎数は、その後増加し、平年をやや上回っている。

## 【葉色】

- ・葉色は、最高分けつ期を過ぎて淡くなってきており、8月11日時点では平年並みとなった。

## ②今後の管理

- ・8月5日を目途に湛水管理に移行する。湛水管理時には、深水を維持するのではなく、用水の入れ替えや夜間のかけ流しを励行して、根の活力維持を図る。
- ・穂肥施用の場合は、6月上中植えのヒノヒカリよりも茎数が多い傾向なので、ほ場の生育に応じた施用時期・施用量を考慮する。
- ・平坦地のヒノヒカリでも葉いもちの発生が確認されており、病斑が確認されたら速やかに防除を行う。

## 3 病害虫の発生状況と防除対策・穂肥施用の場合は、

- ・イネいもち病の注意報が7月27日に発表され、続いて8月12日には技術資料（「イネいもち病の発生状況と防除対策（技術資料第6号）」）が発表された。
- ・8月5日～7日の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場率38.4%（平年16.9%）、発病株率18.3%（平年4.7%）、発病度5.1（平年1.2）で平年に比べ多かった。気象予報では、今後1か月の降水量は平年並みまたは多いと予想されており、穂いもちへの感染拡大が懸念される。防除対策等については、8月12日発表の技術資料第6号を参照のこと。
- ・斑点米カメムシ類の発生量は「やや多」で、今後の予想も「やや多」の見込みである。出穂2週間前までに草刈りを実施し、それ以後はイネ科雑草の穂が出ないように管理するとより効果的である。雑草地周辺では、カメムシ類が集まりやすいので、従来の穂揃期の防除に加えて、穂揃期7日後にも防除する。
- ・8月4日に発表されたトビイロウンカの長期予報では、本年は「少～並発生型」になる確率が高いことから、本年は発生密度が低いと見込まれ、このまま推移すれば防除の必要性は低い。ただし、第2世代幼虫最盛期（8月20日～24日）にはほ場で発生密度を確認のうえ、防除の目安を超えるほ場では直ちに防除を実施する。
- ・コブノメイガとセジロウンカの発生量は「やや少」で、今後の発生は「やや少」の予想である。紋枯病の今後の予想は、「平年並」であるが、今後の病害虫防除所の最新情報を確認する。

いもち病の注意報が出ています。  
天候が不順だと「穂首いもち」に移行する可能性  
もあります。  
しっかり防除しましょう！

## 4 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

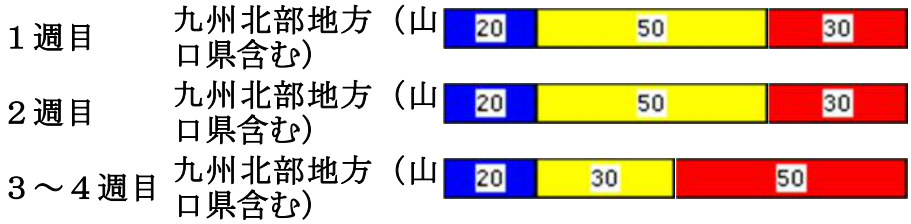
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

【気 温】	九州北部地方（山口県含む）	
【降 水 量】	九州北部地方（山口県含む）	
【日照時間】	九州北部地方（山口県含む）	

凡例： ■ 低い (少ない) ■ 平年並 ■ 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >

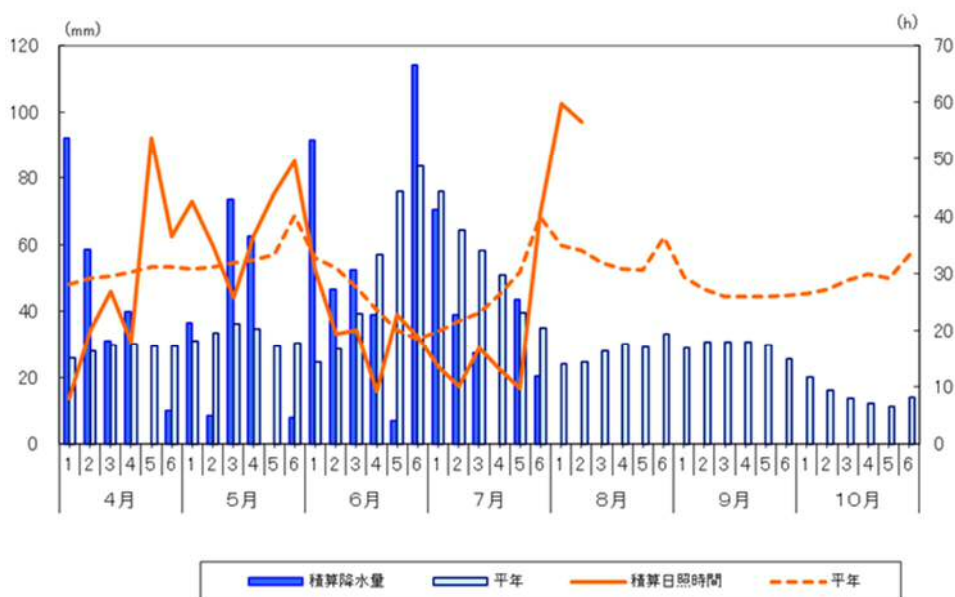
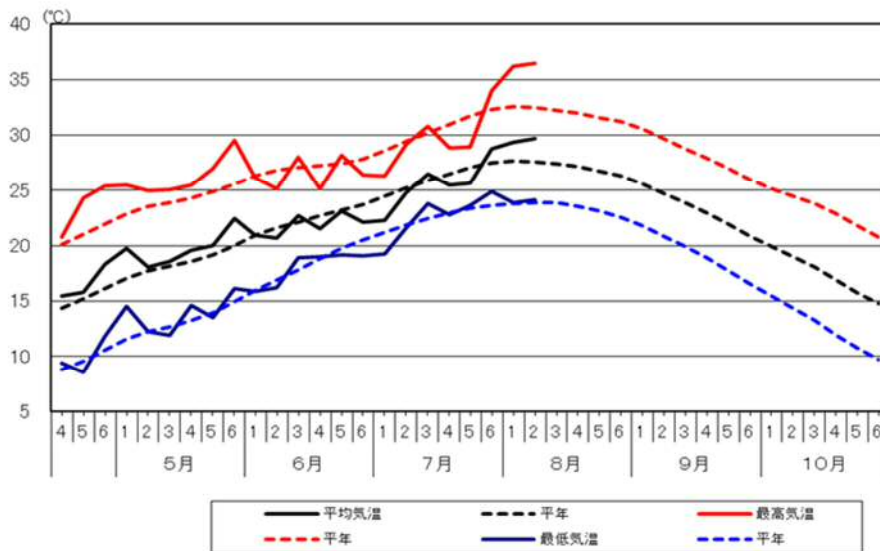


凡例： ■ 低い ■ 平年 ■ 高い

## 5 2015 年度稲作期間の気象

### 1 気象概況

気温 (アメダス山口)



降水量・日照時間 (アメダス山口)